



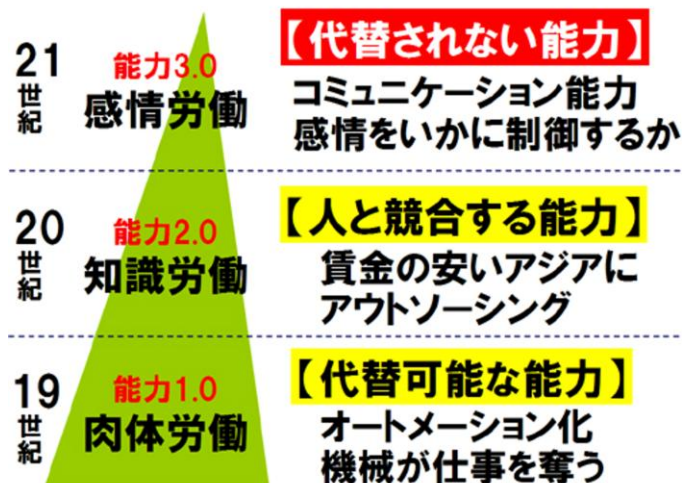
## 夏見台幼稚園・保育園 ニュースレター 2025.9.10 号

夏見台幼稚園・保育園でのこ  
わりをニュースレターにまとめます。どうぞご覧ください。  
※配信停止の方はメールでどうぞ (info@treponte.jp まで)

〒273-0866 船橋市夏見台 2-16-1 夏見台幼保園

## 感情労働の時代を生きる子どもたちへ

今から20年近く前に、私は次のような図を作りました。当時のベストセラーの本を整理したものです。『フラット化する世界』『ハイコンセプト』より)



19世紀は肉体労働が主流の時代で、これを「能力1.0」とします。しかしこれは代替可能な能力でした。産業革命によりオートメーション化が進みました。

20世紀は知識労働の時代に入りますが、これは人と競合する能力となります。当時、インドへのアウトソーシングが進み、賃金の安いアジアが注目され始めていました。

そして「能力3.0」が21世紀の**感情労働**の時代です。これはなかなか代替されにくい能力で、コミュニケーション能力を研ぎ、感情を制御することが求められる、となっています。

AIの進化はいずれ、能力3.0の感情労働の分野へも浸透するでしょうが、これからの時代を生きる子どもたちには、この「感情労働」と

いかに向き合うかがカギとなるでしょう。

ところで、「感情労働」という言葉は、ネガティブなイメージであらわれたものです。

## 感情労働とは？



1979年出版



アーリー・ホックシールド

1979年に社会学者のアーリー・ホックシールドが『管理される心』を出版しました。感情労働による生産物は「顧客の満足」。「商品や製品」(肉体労働)、「書類や契約書」(頭脳労働)に比べるとあいまいです。当然ストレスは大きくなります。

肉体労働でも頭脳労働でも、作業中に「感情」は特に求められていませんでした。作業をしながら心の中で何を考えるかは重要でなかったのです。しかし…

ホックシールドは感情労働の研究を、1980年代



1980年代  
デルタ航空のキャビンアテンダントの研究

代のデルタ航空のキャビンアテンダントの新人研修で行いました。

飛行機に乗ると、CAの方が信じられな

いような素敵な笑顔で迎えてくれたりします。あの笑顔は作り笑顔ではダメで、心の底からの笑顔が求められるといいます。客室があたかも、自分の家の居間であるかのように振舞うことを会社からは期待されていました。

しかし現在はこうしたことの弊害がニュースとなります。うつ病や不安症の増加、カスハラ問題などです。ただ感情労働が主流であること

は間違いありません。では教育には何ができるのか？

幼児教育としては、子どもに「感情を教える」ことが大切と考えます。特にけんかの場面など。言葉の力が十分ではない興奮した子どもに対し、保育者は少しずつ、子どもの心の中を代弁します。



「あんなことされたら嫌だったね、つらくなっちゃうね、悲しくなっちゃうね」

「うん、いやだった、つらかった、かなしい」

心の中のモヤモヤした「気分」を言語化して「感情」として表出させながら、子どもは感情を学びます。ひとつひとつの感情を知ることの延長に「感情のコントロール」があります。子どもたちが感情労働の世界を生きていくためには、感情を制御できなければなりません。

しかしここで問題があります。コントロールできるのは自分の感情だけなのです。人の心は変わりやすいものです。また他人の感情を故意にコントロールすることは、「人の尊厳」の観点からも好ましくありません。心理学者のアドラーも「過去と他人は変えられないが、未来と自分は変えられる」と言っています。

ところでよくこんな言葉があります。

「あなたの笑顔が私の活力」「ありがとうの一言で私は元気になる」。しかしこれを意地悪く解釈すれば、

「ありがとう」がなければだめなのか？笑顔が返されなかったら私の活力は失われてしまうのか…となります。これ



過去と他人は変えられない  
しかし、今ここから始まる未来  
と自分は変えられる

心理学者  
アドラー



あなたの笑顔が私の活力です  
「ありがとう」の一言で  
私は元気になります！



では全く、主導権は相手があります。

感情労働の時代に求められるのはいいい意味で「期待しない人」だと私は思うのです。これは人を信用しないということではありません。人は信用しますが、こちらが期待したような結果が返ってこなくても、それに振り回されないように心を制御することが大事なのです。

「人に期待すること」は「人に依存すること」につながります。これは主体的な生き方とはいえません。私の好きな「外」vs「内」の構図です。結果・期待・見返りなどの「外」に引っ張られないように、「内」にフォーカスすること。結果や期待に惑わされず、今このプロセスに集中するような生き方ができれば、主体的で幸せな人生が送れるのではないかと私は考えるのですがいかがでしょうか。

(終)

「ありがとう！」  
がなければ…



期待しない人

